

高知県感染症発生動向調査（週報）

2019年 第37週 （9月9日～9月15日）

★インフルエンザに気を付けて！

第37週に高知市内の中学校で今シーズン（令和元年9月から令和2年8月まで）最初のインフルエンザによる集団発生（学級閉鎖）の報告がありました。

9月に入り、県内でインフルエンザの報告が散発しており、県外ではインフルエンザ警報が発令中の地域もあります。今後患者数が増加する恐れがありますので注意しましょう。

<予防対策>

～かからないために～

- ① 10月から予防接種が始まりますので、インフルエンザが流行する前に受けましょう。
- ② 外出した後などにはこまめに手洗いしましょう。
- ③ 外出時はなるべく人ごみを避けましょう。
- ④ 十分な栄養と休養をとりましょう。

～人にうつさないために～

- ① 咳やくしゃみなどが出るときは出来るだけマスクをするなど「咳エチケット」を守りましょう。
- ② インフルエンザが疑われるときには、登校を控えるなど、外出は出来るだけ控えましょう。

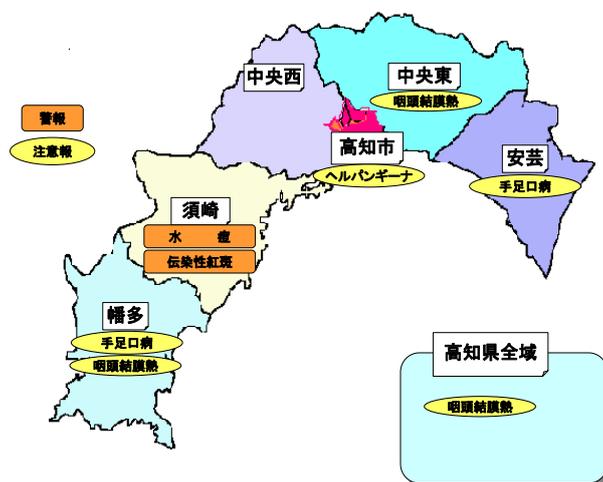
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑ : 急増
 ↗ : 増加
 → : 横ばい
 ↘ : 減少
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
RSウイルス感染症	↗	4. 10	中央西、須崎で急増、県全域、高知市、幡多で増加しています。
感染性胃腸炎	→	2. 10	中央西で急減、中央東、安芸で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	1. 93	須崎、幡多で急増、県全域、高知市で増加しています。
手足口病	↗	1. 53	中央東で減少していますが、安芸で急増、県全域、幡多で増加し、幡多、安芸では注意報値を超えています。
ヘルパンギーナ	↗	1. 13	中央東で急減していますが、須崎、中央西で急増、県全域、高知市で増加し、高知市では注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

咳エチケット

- (1) 普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- (2) 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- (3) 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。



★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○RS ウイルス感染症に気を付けて！

この病気は2日～1週間（通常4～5日）の潜伏期間の後に、軽い風邪様の症状で発症し、通常1～2週間で軽快しますが、授乳期早期（生後数週間から数ヶ月）にRSウイルスに初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあります。一方、年長児や成人は、感染しても症状が軽いことが多く、気が付かずに感染源となる可能性があります。また、高齢者においても急性のしばしば重症の下気道炎をおこす原因となるため、特に長期療養施設内での集団発生が問題となる場合があります。



＜予防方法＞ 咳エチケットと手洗いが大切です

- ・現在、ワクチンはありません。
- ・咳エチケットと手洗いを心がけましょう。

患者の咳、くしゃみなどによる飛沫感染、感染している人との濃厚接触、ウイルスが付着した物品を触ることによる接触感染により感染するので、風邪と同様にマスクの着用（咳エチケット）と手洗いによる予防が有効です。乳幼児への感染を防ぐため、咳などの症状がある人になるべく接触させないようにし、看護する人も手洗いを十分に行ってください。

●RSウイルス感染症 Q&A（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

○夏型感染症（手足口病・ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱）にまだまだ注意しましょう！

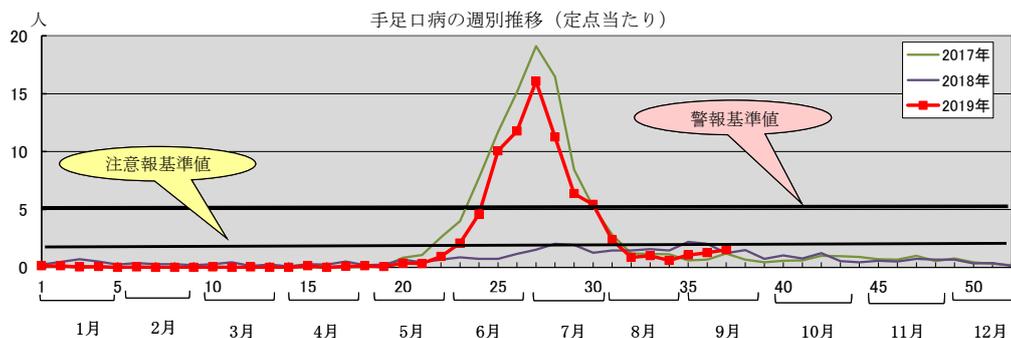
例年7月頃にピークを迎える夏型感染症ですが、まだまだ患者報告数が多い地域もあるので注意しましょう。

＜手足口病＞

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患です。2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

通常は3～5日の潜伏期において、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができます。また、近年のCA6による手足口病では、手足口病の症状が消失した後1ヶ月以内に一時的に爪脱落が起こる症例（爪甲脱落症）も報告されていますが、これらは自然に治るとされています。

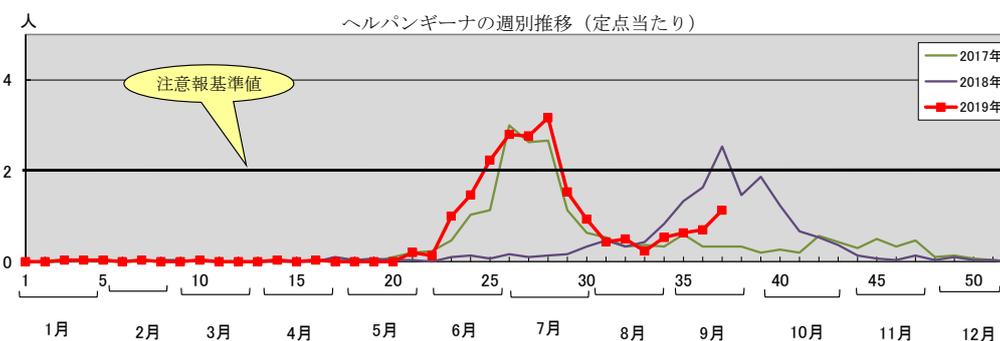
ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。



<ヘルパンギーナ>

夏から秋にかけて流行する疾患で、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を主症状としたいわゆる「夏かぜ」の代表的疾患です。

2～4日の潜伏期の後、突然の高熱、咽頭痛や咽頭発赤が現れます。口腔内の痛みがあり食事がとり難いため、柔らかく、薄味の食事を工夫し、水分補給を心掛けましょう。

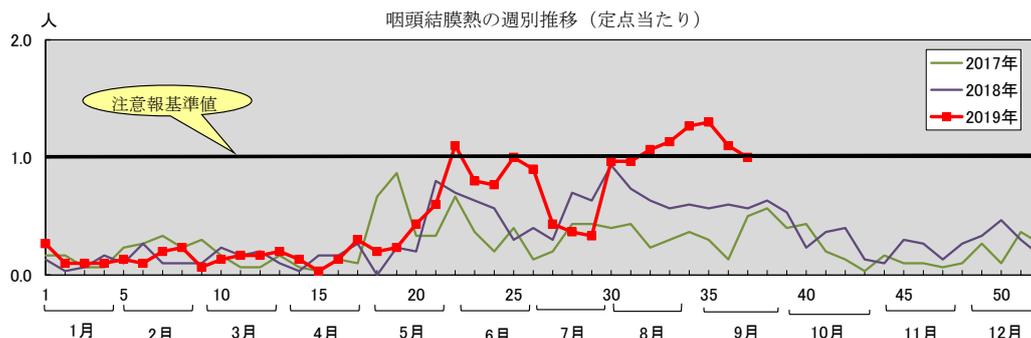


<咽頭結膜熱>

発熱・咽頭炎及び結膜炎を主症状とする急性のウイルス感染症です。

潜伏期は5～7日で、症状は発熱、咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）、結膜炎が三主症状です。

小児、特に5歳以下に多く、例年5月中旬から下旬頃にかけて患者数が増え始め、7月下旬から8月上旬をピークとする流行が見られる夏期の疾患で、プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。プールや温泉施設を利用する際は、前後にしっかりとシャワーを浴びるようにしましょう。



<予防方法> これらの疾病は主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します

- ・手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。
- ・タオル・コップ等は別のものを使い、感染者との密接な接触はさけるようにしましょう。
- ・手足口病は治った後も比較的長い期間便の中にウイルスが排泄されますし、感染しても発病しないままウイルスを排泄している場合があると考えられています。しっかりした手洗いが大切です。

●厚生労働省 「わかりやすい感染症 Q&A」(O157, つかみ病, つつが虫病, 高病原性インフルエンザ, 咽頭結膜熱, 感染性胃腸炎, 手足口病, 伝染性紅斑, 突発性発疹, 風しん, ヘルパンギーナ, 麻しん, 流行性耳下腺炎, インフルエンザ)
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou16/01.html>

☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
37	インフルエンザ様疾患	39℃,咳嗽,上気道炎,関節痛,	4	女	高知市	Human metapneumovirus
37	-	嘔吐,嘔気,	12	女	中央東	Norovirus GII NT
37	喘息性気管支炎 急性中耳炎	39℃,咳嗽,上気道炎,下気道炎,気管支炎,	8ヶ月	女	中央東	Respiratory syncytial virus A

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
35	無菌性髄膜炎	40℃,	12	女	高知市	Varicella-zoster virus
36	川崎病疑い	発疹,	1	女	中央東	Coxsackievirus B2 Adenovirus 2
36	咽頭結膜熱	39℃,上気道炎,結膜炎,	3	男	高知市	Adenovirus 3
36	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	1	男	須崎	Echovirus 30
36	突発性発しん	41℃,上気道炎,	1	女	中央東	Rhinovirus
36	不明発疹症	38℃,発疹,	8ヶ月	男	須崎	Rhinovirus
36	手足口病?	39℃,発疹,	5	男	須崎	Rhinovirus
36	不明発疹症	37℃,発疹,	7	女	須崎	Rhinovirus

<国内の手足口病由来ウイルス検出状況>

国内の手足口病由来のウイルス検出状況は、直近5週間（2019年第32週～第36週）では、Coxsackievirus A16の検出割合が最も多く45%（17件）、次いでCoxsackievirus A6が39%（15件）、Rhinovirusが8%（3件）となっています。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	85	60歳代 女	須崎
5類	急性弛緩性麻痺	1	1	0～4歳 男	高知市
	梅毒	1	17	40歳代 男	中央東
		1		40歳代 女	高知市
	百日咳	1	125	5～9歳 男	中央東
1		60歳代 男			

★定点医療機関からのホット情報

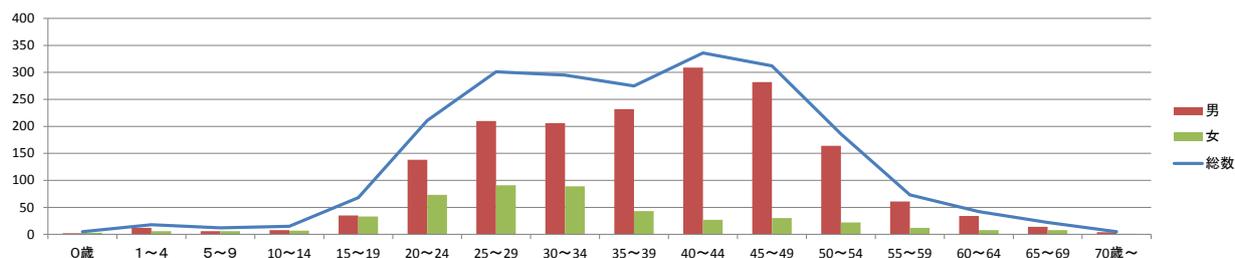
保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 2 例 (6 歳男、7 歳女)
中央東	おひさまこどもクリニック	hMPV 気管支炎 1 例 (1 歳男) アデノウイルス 9 例 (1~4 歳 : 内咽頭結膜熱 4 例)
	早明浦病院小児科	RSV 感染症 3 例 (7 ヶ月~2 歳) 手足口病再流行 4 例 (1~10 歳)
	高知大学医学部付属病院小児科	hMPV 細気管支炎 1 例 (10 ヶ月男) マイコプラズマ肺炎 1 例 (3 歳女)
高知市	高知医療センター小児科	RSV 感染症 13 例 (1 ヶ月男女、4 ヶ月女、8 ヶ月女、 11 ヶ月女 3 人、1 歳男、1 歳女 3 人、2 歳男 2 人)
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス咽頭炎 3 例 (0 歳、1 歳、3 歳) カンピロバクター腸炎 2 例 (7 歳、9 歳)
	福井小児科・内科・循環器科	RSV 感染症 4 例 (1 歳男、1 歳女 2 人、3 歳男) 伝染性紅斑 2 例 (4 歳男、6 歳男) 水痘 2 例 (4 歳男 : ワクチン 2 回済、5 歳男 : ワクチン 1 回済) 手足口病 8 例 ヘルパンギーナ 6 例 溶連菌感染症 6 例
	細木病院小児科	ノロウイルス 1 例 (11 ヶ月男)
中央西	石黒小児科	マイコプラズマ感染症 1 例 (12 歳女) インフルエンザ A 型 5 例
	くばたこどもクリニック	アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳女)
	日高クリニック	hMPV 2 例 (7 ヶ月男、1 歳男) マイコプラズマ気管支炎 1 例 (12 歳男)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 7 例 (1 歳 2 人、5 歳 2 人、6 歳 3 人) カンピロバクター腸炎 2 例 (5 歳、12 歳) RSV 感染症 5 例
幡多	さたけ小児科	hMPV 2 例 (2 歳男、4 歳女) アデノウイルス 3 例 (1 歳男、4 歳女、5 歳女) RSV 感染症 9 例
	幡多けんみん病院小児科	hMPV 5 例 (5 ヶ月男、1 歳男、2 歳女、3 歳男、4 歳男)

★県外で注目すべき感染症

○風しんの届出数が多い状態が継続しています

2019 年第 1 週~36 週の報告数は 2,176 人となっており (2018 年の同時期全国で 521 人)、95% (2,058 人) が成人で、30 歳から 50 歳代の男性を中心に (男性 1,717 人、女性 459 人) に報告数の多い状態が継続しています。

2019年累積風しん報告数(年齢別・性別)



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府以外に福岡県、愛知県、兵庫県、佐賀県、北海道など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

今後、感染が拡大する可能性がありますので、人混みを避けるなどさらなる注意・予防に努めましょう。

【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ
感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染
潜 伏 期 間 : 2～3 週間程度
感染性のある期間 : 発疹のでる 7 日前から発疹出現後 7 日くらいの間

【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

【予防方法】

- ・風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。
風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1 歳児、小学校入学前 1 年間の幼児の方）
- ・風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠 20 週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りの方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

【風しんの抗体検査について】

県及び高知市は、風しん及び先天性風しん症候群の発生の予防及びまん延防止を図るため、高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性やその家族などに対して無料の風しん抗体検査を実施しています。抗体検査を実施する医療機関により検査受付は異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）。

無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/fushinkensa.html>

また、風しんの追加的対策として 2019 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで以下の対象者は無料の風しん抗体検査及び定期の予防接種(第 5 期)を実施しています。

2019 年度は、

・1972 年（昭和 47）年 4 月 2 日から 1979 年（昭和 54）年 4 月 1 日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布

・1962（昭和 37）年 4 月 2 日から 1972（昭和 47）年 4 月 1 日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

受診可能な医療機関をご確認のうえ、各医療機関にお問い合わせください。厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第 5 期定期接種受託医療機関）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

なお、受診時には本人確認（免許証、マイナンバーカードなど）ができる書類をご持参ください。

風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け）<https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>

【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成 30 年 8 月 17 日付け 30 高健対第 859 号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- 1) 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- 2) 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生環境研究所で行いますので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しんの追加的対策関係：医療機関・健診機関向け手引き（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/000116890_00003.html

●風しん Q&A2018 年 1 月 30 日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

●衛研ニュース第 20 号（高知県衛生環境研究所）30～50 歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

★デング熱に気を付けて！

県内では過去5年で2014年、2015年と発生届けが報告されています。

2014(平成26)年		2015(平成27)年		2016(平成28)年		2017(平成29)年		2018(平成30年)	
高知県	全国								
2	341	1	293	0	339	0	245	0	198

熱帯や亜熱帯の全域や東南アジア、南アジア、中南米など流行地域へ渡航、滞在される方は、蚊に刺されないよう対策をとっていただくとともに、今後の流行状況等に注意して下さい。

デング熱について

症 状：発熱、頭痛、筋肉痛や発疹が主。まれに重症化し早期に適切な治療が行わなければ死に至ることも

感染経路：蚊を介して感染。発症した人が蚊に刺されると、その蚊にウイルスが移り、その蚊に刺された人に感染

渡航中の注意点

蚊に刺されない様にするのが大切です

- ・肌を露出しない長袖、長ズボンを着用する
- ・素足でのサンダル履きを避ける
- ・白など薄い色のシャツやズボンを選ぶ
- ・露出する部分には虫除けスプレーなどを使用する
- ・蚊取り線香などを使って蚊を近づけない



心配な場合は早めの受診を

- ・海外で発熱などの症状がでたら、出来る限り早く医療機関を受診してください
- ・帰国後に発症した場合や、症状が改善しない場合はお近くの医療機関または検疫所にご相談ください。医療機関を受診する時には、医師に渡航先や渡航期間、渡航先での活動などについて、詳しく伝えてください。

帰国の際に、発熱や心配な症状のある方は検疫所にご相談ください

●蚊媒介感染症（厚生労働省）

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>

●厚生労働省検疫所（FORTH）

<https://www.forth.go.jp/index.html>

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869
この情報に記載のデータは2019年9月17日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第37週 令和元年9月9日(月)～令和元年9月15日(日)

高知県衛生環境研究所

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計)		全国(36週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～R1/9/15	H30/12/31～R1/9/8		
小児科	インフルエンザ	1	4	10	8			23 (0.48)	2 (0.04)	3,813 (0.77)	13,773 (286.94)	1,435,553 (291.07)		
小児科	咽頭結核熱		10	10			10	30 (1.00)	33 (1.10)	1,414 (0.45)	556 (18.53)	49,098 (15.58)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	37	7	5	5	58 (1.93)	35 (1.17)	4,668 (1.48)	2,296 (76.53)	238,251 (75.61)		
	感染性胃腸炎	3	11	34		1	14	63 (2.10)	63 (2.10)	10,700 (3.39)	4,399 (146.63)	592,755 (188.12)		
	水痘		1	3			1	10 (0.33)	8 (0.27)	713 (0.23)	279 (9.30)	37,170 (11.80)		
	手足口病	5	5	19	3		14	46 (1.53)	38 (1.27)	9,800 (3.11)	2,367 (78.90)	331,392 (105.17)		
	伝染性紅斑		2	9	2	4		17 (0.57)	24 (0.80)	2,538 (0.80)	456 (15.20)	79,177 (25.13)		
	突発性発疹		4	8				12 (0.40)	11 (0.37)	1,369 (0.43)	375 (12.50)	46,032 (14.61)		
	ヘルパンギーナ	1	1	28	2	2		34 (1.13)	21 (0.70)	4,050 (1.28)	619 (20.63)	78,983 (25.07)		
	流行性耳下腺炎						1	1 (0.03)	()	277 (0.09)	34 (1.13)	11,198 (3.55)		
	RSウイルス感染症	2	16	58	15	6	26	123 (4.10)	92 (3.07)	9,842 (3.12)	853 (28.43)	76,185 (24.18)		
眼科	急性出血性結膜炎						()	()	9 (0.01)	1 (0.33)	263 (0.38)			
	流行性角結膜炎			1			1 (0.33)	1 (0.33)	540 (0.78)	49 (16.33)	15,883 (22.89)			
基幹	細菌性髄膜炎						()	()	10 (0.02)	2 (0.25)	338 (0.71)			
	無菌性髄膜炎					1	1 (0.13)	()	23 (0.05)	3 (0.38)	497 (1.04)			
	マイコプラズマ肺炎		1	3			4 (0.50)	1 (0.13)	144 (0.30)	98 (12.25)	2,920 (6.10)			
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)						()	()	2 ()	4 (0.50)	65 (0.14)			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)						()	()	5 (0.01)	89 (11.13)	4,614 (9.63)			
計 (小児科定点当たり人数)	12 (5.75)	59 (8.07)	220 (19.36)	37 (11.27)	23 (11.50)	72 (14.20)	423 (13.60)			49,917	26,253 (694.72)	3,000,374		
前週 (小児科定点当たり人数)	10 (5.00)	64 (9.01)	164 (14.82)	20 (6.52)	18 (9.00)	53 (10.53)		329 (10.89)						

注 () は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所						計	前週	全国(36週)	高知県(37週末累計)		全国(36週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/12/31～R1/9/15	H30/12/31～R1/9/8		
小児科	インフルエンザ	0.25	0.36	0.63	1.60			0.48	0.04	0.77	286.94	291.07		
小児科	咽頭結核熱		1.43	0.91			2.00	1.00	1.10	0.45	18.53	15.58		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.57	3.36	2.33	2.50	1.00	1.93	1.17	1.48	76.53	75.61		
	感染性胃腸炎	1.50	1.57	3.09		0.50	2.80	2.10	2.10	3.39	146.63	188.12		
	水痘		0.14	0.27		2.50	0.20	0.33	0.27	0.23	9.30	11.80		
	手足口病	2.50	0.71	1.73	1.00		2.80	1.53	1.27	3.11	78.90	105.17		
	伝染性紅斑		0.29	0.82	0.67	2.00		0.57	0.80	0.80	15.20	25.13		
	突発性発疹		0.57	0.73				0.40	0.37	0.43	12.50	14.61		
	ヘルパンギーナ	0.50	0.14	2.55	0.67	1.00		1.13	0.70	1.28	20.63	25.07		
	流行性耳下腺炎						0.20	0.03		0.09	1.13	3.55		
	RSウイルス感染症	1.00	2.29	5.27	5.00	3.00	5.20	4.10	3.07	3.12	28.43	24.18		
眼科	急性出血性結膜炎									0.01	0.33	0.38		
	流行性角結膜炎			1.00			0.33	0.33	0.78	16.33	22.89			
基幹	細菌性髄膜炎									0.02	0.25	0.71		
	無菌性髄膜炎					1.00	0.13		0.05	0.38	1.04			
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.60				0.50	0.13	0.30	12.25	6.10		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)									0.50	0.14			
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)									0.01	11.13	9.63		
計 (小児科定点当たり人数)	5.75	8.07	19.36	11.27	11.50	14.20	13.60				694.72			
前週 (小児科定点当たり人数)	5.00	9.01	14.82	6.52	9.00	10.53		10.89						

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2019年 第37週)

